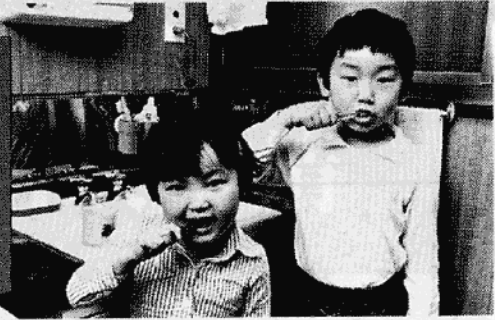


よい歯で よくかみ よいからだ

6月4日～10日

歯の衛生週間

子供と歯



むし歯予防は、まず歯みがきから。

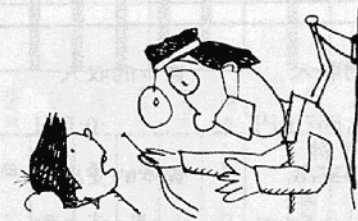


乳歯は永久歯の水先案内人

子供のむし歯は一生ひびく

子供の歯——乳歯はいずれ永久歯に抜け代わるのだから、少々むし歯になってもたいしたことはない——などと軽く考えておかないで、後々とり返しつづかないことになりまから注意を。六、七歳になると、乳歯がぶらぶらになって、やがて抜け落ちる。

心身の健康と切っても切れない関係にある歯——その歯をいつまでも丈夫に保つには、むし歯や歯周疾患（いわゆる歯そろうのうろう）といった歯の病気にからならないよう、ふだんから歯を清潔に保つことが大切です。歯の「健康保持」はまずむし歯予防から——ということから六（む）月四（し）日から一週間「歯の衛生週間」が行われます。ことしの重点目標は「歯や口中をいつもきれいに」です。とくに子供の場合、歯の良し悪しは心身の成長に大きな影響を与えます。丈夫な子供は健康な歯から——子供の成長と歯について考えてみました。



半年に1度は 歯の「定期検診」を

子供のむし歯は、進行が速いのが特徴です。そのうえ、一本一本が徐々にむし歯になるといっても、一度に数本がむし歯になることが多いのです。子供の歯は歯質が薄いので、むし歯になっても治療がしにくく、その上治療を怖がるなど厄介な面があるので、ふだんの予防が何よりも大切です。少なくとも半年に一回は「定期検診」を受けるのがよいでしょう。

ちますが、この乳歯こそ、その後にはえてくる永久歯——一生使う大切な歯——の基礎となるものです。「乳歯は永久歯の水先案内人」といわれるのもそうしたことから、乳歯にむし歯があると永久歯との交換がうまくいかず、八重歯や乱ぐい歯（歯列不正）になってしまいます。歯並びが悪いのは、顔だちにひびくばかりでなく、むし歯や歯周疾患の原因になります。むし歯の痛みがひどいと、子供は心身ともにまいってしまい、その結果は食欲不振、偏食という悪循環をたどることになります。

す。発育ざかりの子供の身長や体重の横ばい状態がよくみられるのも、むし歯が原因である場合が多いのです。また、むし歯のために微熱が続き、リンパセンがはれ、さらに心臓病や腎炎などの全身病を起す場合もあります。そのほか、むし歯がひどいと、人前に出てもひげ目を感じたり、正しい発音ができにくいために、話すのが苦痛となり、内向的な性格になることもあります。そして、場合によっては知能の発達にまで影響を与えることがあるといわれます。乳歯を大切に——。